

## 博士論文の審査結果の要旨

専攻	保健医療学専攻	分野	看護学分野
学籍番号	17S3048	院生氏名	中澤 沙織
通学キャンパス	東京赤坂キャンパス		
論文題目	新卒看護師が認識する実地指導者のサポートがバーンアウトに及ぼす影響		
審査結果(枠で囲む)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">合格</span> <span>不合格</span> </div>		
<p>&lt;審査結果の要旨&gt;</p> <p>1. 研究の概要と価値</p> <p>本研究は、新卒看護師の視点から考える臨床現場における現代の新卒看護師が認識する実地指導者からのサポートを評価できる尺度を開発し、新卒看護師が認識する実地指導者のサポートがバーンアウトに及ぼす影響を明らかにすることと目的とし、【研究1-1】グループインタビュー法による新卒看護師と実地指導者の具体的な関わり内容のカテゴリー化、【研究1-2】新卒看護職員に対する質問紙調査による実地指導者のサポート尺度の開発、【研究2】新卒看護師に対する質問紙調査に基づく新卒看護師のバーンアウトの因果モデルの作成を行なった。その結果、新卒看護師が認識する実地指導者のサポートおよび職務不満がバーンアウトに直接影響すること、実地指導者のサポートが看護の充実感に影響し職務不満に影響していることなどを明らかにした。</p> <p>本研究の実施に当たっては、本学倫理審査委員会の承認を得た上で実施しており、質問紙は無記名であり、対象者には配布文書にて研究の目的等を説明するとともに、質問紙への回答をもって調査への同意とすることを伝えており、倫理的な問題はないと考えられた。</p> <p>本研究の新規性は、実地指導者のサポートを感じていると看護の充実感を高め、職務不満が低減するなど、先行研究では明らかとされていない新知見が得られ、実地指導者から新卒看護師に対するサポートを充実することによりバーンアウトの低減につながることを示唆されたことである。</p> <p>2. 審査経過</p> <p>審査会において、本研究の限界と今後の課題について追記を行うこと、実地指導者の重要性や臨床における看護の視点等を含めて考察や提言を加筆修正すること、などが指摘され、論文の修正を求めた。その結果、適切に加筆修正されたことを審査員全員で確認した。</p> <p>3. 口頭試問</p> <p>口頭試問において、尺度の開発方法、研究デザイン、データ分析等について具体的な研究過程の説明を求めたところ、適切に応答した。</p> <p>以上の審査結果から、審査会の審査員全員は本論文の著者に博士(看護学)の学位を授与するに十分な価値があるものと認めた。</p>			
論文審査担当者	主査	池田 俊也	
	副査	坪倉 繁美	
	副査	花田 妙子	